



## アドバイス

用途に応じた種類に分けるとい問題です。こうした問題は、雨などの季節に関するものから身に着けるもの、料理に使うものなど、幅広く問われやすい特徴があります。食事やお着替えの際などに一緒に学べるようにしましょう。

また、この問題で注目したいのは「持っていないもの」を問われていることです。常識問題ではこのように知識があるかと同時に、聞く力などを問われることもあるため、集中して問題を最後まで理解する習慣をつけましょう。せっかく分かっている、問題を聞き漏らしてしまつては間違えてします。このようなミスを繰り返すと、合格が遠のいてしまいます。人の話を聞く力は、入学後の授業にも影響しますから、今のうちにしっかりと習得しましょう。

### 【おすすめ問題集】

Jr・ウォッチャー12「日常生活」

## 問題8

分野：常識（季節）

〈準備〉 鉛筆

〈問題〉 同じ季節のものが並んでいるグループを探して、左側に描いてあるおはじきに○をつけてください。

〈時間〉 30秒

〈解答〉 3段目



## アドバイス

このような季節の問題は、知っていなければ正解することができません。そのため、知識として季節の食べ物や植物、行事などを知っていることが重要です。その際に家庭の中で自然と学べるようにするとよいでしょう。食卓の場や外出した時は季節の違いや特徴が学べる絶好の場です。お子さまが生活の中で身に付けていった知識は受験だけに留まらず、生活の中に生かすことのできる知識でなければ意味はありません。こうした問題が小学校へ進学した際にも行事などで役立ちます。日常の中で学習の機会を増やしてあげることで進学した後にも役立つ知識が身に付きます。

### 【おすすめ問題集】

Jr・ウォッチャー34「季節」